

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	農水課長 鈴木 康之	
市民-22	実施事業	農業振興運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 農水課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	産業振興	施策の方針	農業・漁業の振興

1 事業の目的

対象	農業従事者等
意図	農業施策上必要な協議調整や事業を行い、農業経営の安定と農産物の安定供給を図るため。
効果	農業経営の安定と農産物の安定供給

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

さがみ農業協同組合に鎌倉ブランド事業や秋の収穫まつり事業などに係る補助金を交付し、農業の振興を図った。 鎌倉市農業振興ビジョンに基づく、農業の担い手の確保、遊休農地の解消及び国の施策に基づく担い手の育成・支援のための制度の円滑な運用を図った。 鎌倉農業振興地域整備計画に基づき、関谷地区の農道整備に向けて土質調査を行った。 令和元年台風第15号・第19号により農用施設に被害を受けた農業者に対し、国・県と協調して復旧及び撤去等に係る費用への補助金交付を進めていたが、年度内に完了できなかったため、翌年度へ繰越しを行った。
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		データ区分	02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	26,766	9,131	当初予算(千円)	5,008			
	国県支出金	6,593	3,640	国県支出金	1,500			
	地方債	11,900	0	地方債				
	その他	575	313	その他	816			
	一般財源	7,698	5,178	一般財源	2,692			
	人員配置数	1.6	2.1	人員配置数	1.2			
				会計年度任用職員配置数	0.4			
事業経費運営	人件費(千円)	12,488	16,987	人件費(千円)	10,112			
	総事業費(千円)	39,254	26,118	総事業費(千円)	15,120			
	市民1人当りの経費(円)	223	148	市民1人当りの経費(円)	86			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンドで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-負担導入済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー 農業者
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 農業者や農業関係団体と連携し、農業振興を図る上で適切な補助金交付を行う。農道整備工事については、令和2年度(2020年度)から令和3年度(2021年度)までの期間的なこともあり、農道整備事業として事業を進めるため農業振興運営事業の予算規模は縮小される。農道整備事業として、引き続き、国県補助金を活用して実施するため県等と調整を図る。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	平成30年度(2018年度)に見直した「鎌倉農業振興地域整備計画」に基づき、農業環境の改善に向けて農道整備を進めていく。「鎌倉やさい」は地元で採れた「新鮮で安全、生産者の顔が見える野菜」として、市民ニーズが高いことから、「鎌倉やさい」のブランド力の強化を図ることは、本市の農業の安定的な継続のために必要なことである。 市内で発生した植木剪定材を利用した堆肥の作成・販売は、さがみ農業協同組合を通じて事業者と農業者の間で行われており、受益者負担は適正である。 市民等との協働についてだが、農業振興事業は常にさがみ農業協同組合等の関係団体や農業者と共に進めていることから今後も継続していく。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	令和元年度(2019年度)に、農道2路線の土質調査及び整備を予定していたが、県の予算の都合により、2路線の土質調査のみの予算しか確保できなかった。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	農道2路線の予算の中で、関連部局と協議調整をして、農道3路線の土質調査を実施することができた。	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	令和2年度(2020年度)に農道3路線の土質調査と農道約2路線の予算確保はできたが、引き続き、令和3年度の予算が確保できるよう県と協議を行うこと。また、新たな担手の確保に向け、どのようにして鎌倉やさいのブランド力の強化や農業振興施策の推進を図っていくかが課題である。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	総農家数(2015年農林業センサスより)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	秦野市	三浦市
他市実績	137戸	1132戸	603戸	1671戸	1987戸	628戸	125戸	1376戸	754戸

比較事項	耕地面積(2015年農林業センサスより、下段:市域面積に対する耕地面積の割合)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	秦野市	三浦市
他市実績	65ha	741ha	305ha	1119ha	1196ha	399ha	26ha	696ha	940ha
	1.6%	10.7%	8.5%	16.5%	10.5%	4.0%	1.5%	6.7%	29.3%

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県内他市と比較し、本市の耕地面積の割合が低いため、効率的な農地利用が求められる。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	遊休農地面積(市街化調整区域及び生産緑地地区)					単位	ha	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	市内農地面積		
遊休農地解消の達成状況を把握するため。	目標値	-	6.2	6.1	6.0	5.9	5.8	H27 104ha		
	実績値	6.5	6.6	5.3	4.7	4.2	5.6	H28 102ha		
	達成率	-	93.9%	115.1%	127.7%	140.5%	103.6%	H29 102ha H30 100ha H31 100ha		

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	実績値が目標値を下回っていることは、遊休農地面積が目標以上に減少していることを表しており、このことから遊休農地解消の取り組みが効果を上げていると捉えることができる。一方で、4年振りに遊休農地面積が増加に転じていることから更なる遊休農地の解消に努める。
-----------------------	---